



子ども・若者の意見表明・意見反映について

川崎副市長（子ども青少年部）

2025年 9月19日 令和7年度 第2回幹部会議

1 なぜ、子どもの意見を聴くのか（義務化されている）



▶ こども基本法 第11条（こども施策に対するこども等の意見の反映）

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

▶ こども基本法 第2条（定義）

この法律において「こども施策」とは、次に掲げる施策その他のこどもに関する施策及びこれと一体的に講ずべき施策をいう。

こども施策＝

こどもに関する施策

+

一体的に講ずべき施策

こどもの健やかな成長や就労・結婚・妊娠・出産・育児等の各段階に応じて行われる支援を主たる目的とする施策

- ①おとなになるまで切れ目なく行われるこどもの健やかな成長のための支援
- ②子育てに伴う喜びを実感できる社会の実現のための支援
- ③家庭における養育環境その他のこどもの養育環境の整備
- ④その他のこどもに関する施策

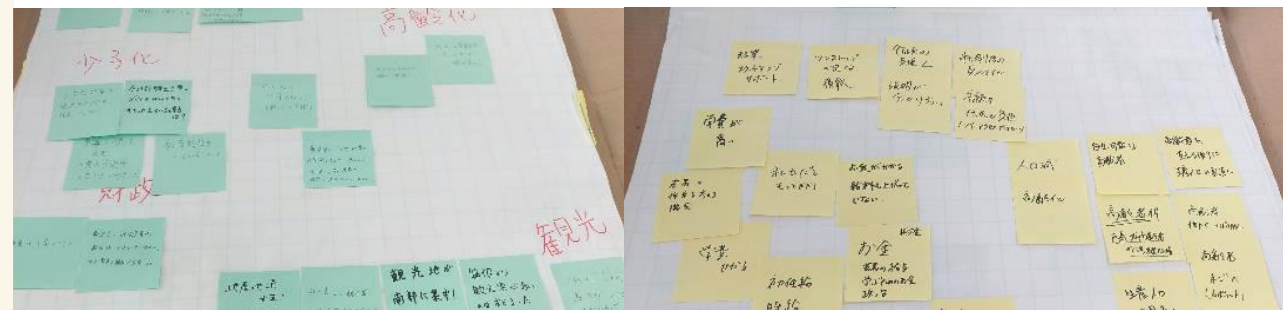
- 主たる目的はこどもの健やかな成長に対する支援等ではないがこどもや子育て家庭に関係する施策
 - こどもに関する施策と連続性をもって行われるべき若者に対する施策
 - ・教育施策
 - ・医療施策
 - ・雇用環境の整備
 - ・就労支援
- など幅広く

2 取組事例－①（企画政策課）



「市政運営の総合指針」
の改定にあたり、
「藤沢市の長期課題を検討する
”描こう未来のまちづくりワーク
ショップ”」を開催

市内大学に参加者を募り、20年後の
藤沢市に向けた展望やアイデアなどを
聴きました！



3 取組事例－②（都市計画課）



「都市マスタープラン」 の改定にあたり、 「30年後のまちづくり」を 企画・設計する”ふじさわ こどもまちづくり会議”へ参加

大学生が主体となって、小学生を対象に
地域のまちづくり学習を行うワーク
ショップで、藤沢のまちづくりについて
意見を聴きました！

※ふじさわこどもまちづくり会議：1997年に発足した
藤沢市の建築家と首都圏の大学生が運営する有志団体



こどもまちづくりワークショップ（毎年開催）の様子 出典：ふじさわこどもまちづくり会議HPより

「ふじさわ子ども・若者委員会」でも意見を聴きました！

藤沢市都市マスタープランの改定に取り組んでいます

都市マスタープランとは？
2015年（平成27年）の改定を機に、都市計画
部では、まちの設計図（都市マスタープラン）の改定を進めています。

この計画図では、これまでのまちづくりによって、まちの形
は大きく変わってきています。これから、まちの形
（道路や公園や施設など）をより良くしていく
こと、まちで暮らす生活や仕事に支障がないように
一層、作っていくことを大切にしていきたいです。

藤沢市都市マスタープランの改定に取り組んでいます

Q 未来の新しいまちを築くにあたり、未来を生きる皆さんの意見が大切です

都市マスタープランでは無職が住む人、働く人にとって住みよく働きやすい、
今も未来も住み続けたい都市となるよう取組を進めています。

そのために、住みよさや都市の活力を高め、自然環境や災害と向き合い、良し
い都市となるよう都市の形を定め、広域連携や新しい技術の活用も進めてい
きます。その実現にあたって、多様な主体と一緒にまちづくりを進めてい
きます。

あと少しで社会に出る皆さんは、
Q1 卒業後、藤沢で働いたり、住みたいと思いますか？
Q2 その理由はなんですか？
Q3 もし、藤沢で働きたい、住みたいと思わないなら、それはなぜですか？

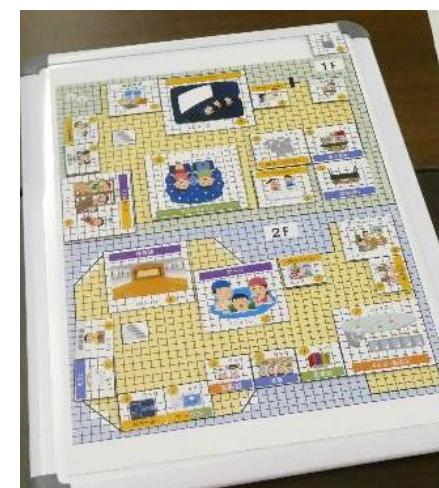


4 取組事例－③（青少年課）



「子どもの居場所づくり推進計画」 の改定にあたり、 「キュンとする子どもの居場所 プロジェクト」を開催

子どもたちと一緒に理想の居場所を考える
ワークショップで、インターンシップの
大学生と一緒に、小・中学生、高校生から
「理想の居場所」について提案してもらい
ました！



5 ふじさわ子ども・若者委員会について (子ども総務課)



ふじさわ子ども・若者委員会を結成

(愛称: 「かわせみボイス隊」 ←委員の命名)

6月から継続して活動中

高校生、大学生の委員が頑張っています！
市の施策への意見表明をするほか、
自らの「まちへの思い」を意見提案するため、
次のテーマでグループワークを行っています

- ① 居場所づくり (地域の活性化・遊び場・安心できる空間づくりなど)
- ② ライフデザイン (学校、進路、生きやすさ、将来への不安など)
- ③ 総合的な藤沢市の政策 (交通・環境・観光など多分野にわたる提案)



6 インターンシップの活用（子ども総務課・職員課）



インターンシップ及び
長期インターンシップを活用し、
「藤沢市子ども・若者共育計画」
の策定にあたり、意見を聴取

インターンシップや長期インターンシップに
参加した大学生に「藤沢市子ども・若者共育計画」
の策定にあたり、意見を聴きました！

また、長期インターンシップ参加者には、
子どもにも分かりやすい「子ども青少年部紹介
パンフレット」を作成してもらいました

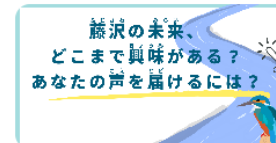


7 オンラインプラットフォームの始動（子ども総務課）



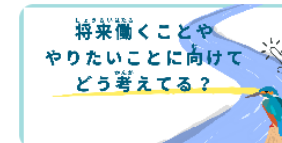
“いつでも・どこでも・だれでも”
子どもたちが意見表明できる
オンラインプラットフォーム
「かわせみボイス～どんなみらい
が光って見える？」を始動

スマートフォンやPCを活用し、子ども・若者が簡単に、自由に、匿名で自分の意見を表明
できます
ぜひ、周りにいる子ども・若者の皆さんに広めて
ください！



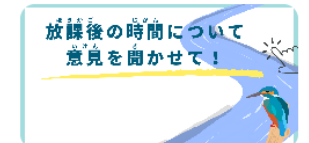
藤沢の未来、どこまで興味ある？あなたの声を届けるには？

藤沢市の政策、あなたはどこまで知っていますか？大人が勝手に決めるのではなく、子ども・若者の声を藤沢市に届けるには、どうしていったらよいでしょうか。意見をください！



将来働くことややりたいことに向けて、どう考えてる？

将来どんな仕事をしたり、どんな生活をしたいか、みなさんは考えますか？将来のことを考えたときに、いま欲しい情報やサポートなどについて教えて下さい。



放課後の時間について意見を聞かせて！

放課後の時間、どこで何をして過ごしていますか？子ども若者のための居場所を作りたいので、みなさんの希望や困っていることを教えてください！



8 子どもの意見を聴こうと思ったら、、、

- ▶ 子どもの意見聴取が必要なときは、子ども総務課へご相談ください
- ▶ 意見聴取について、何を、どのように、聴いていくのか、一緒に考えましょう！

※各課等において、既に良いアイデアや取組がある場合、ご相談の必要はありません。
(情報提供をいただくと助かります)

9 今後の予定について



- ▶ 「こども施策への子ども・若者の意見表明・意見反映」をテーマに、eラーニングを開講します
詳細は今後、「インフォメーション」でお知らせします
- ▶ 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 藤沢を開催します（2025年11月3日（月・祝）、本庁舎）
 - ・イベント（「ふじさわ子ども・若者委員会」からの活動報告、こども家庭庁と尼崎市こども政策監による講演、子ども・若者支援者の交流）
 - ・パネル展示（子どもの支援団体等）

10 様々な“子どもの居場所”へ（川崎副市長）



「こども施策」の推進にあたり、
様々な“子どもの居場所”で支援者の声を聴いています



児童クラブ



地域子どもの家



川崎市子ども夢パーク



サマースクール



1 1 結びに

「こどもまんなか社会」へ

「藤沢市子ども・若者共育計画」では、目指す姿を
「こどもの笑顔がつながるまち、ふじさわ」としました



子どもが笑顔でいられるように、
子どもが「藤沢にずっと住み続けたい」と思えるように、
子どもの意見が反映されるまちづくりを進めましょう！

END